

いわき民報
本紙の発行所は、いわき市本町一丁目一〇番地
電話：二七六六
社団法人 いわき民報社

葉煙草賠償金引上げ

本葉の優良種も認めらる

葉煙草賠償金引上げ
葉煙草賠償金引上げ
葉煙草賠償金引上げ
葉煙草賠償金引上げ

現在の二倍半に

現在の二倍半に
現在の二倍半に
現在の二倍半に
現在の二倍半に

衣料品登録を實施

衣料品登録を實施
衣料品登録を實施
衣料品登録を實施
衣料品登録を實施

選挙より甚しい被害

選挙より甚しい被害
選挙より甚しい被害
選挙より甚しい被害
選挙より甚しい被害

下期出炭割當再審

下期出炭割當再審
下期出炭割當再審
下期出炭割當再審
下期出炭割當再審

水不足

水不足
水不足
水不足
水不足

第一校のお引越

第一校のお引越
第一校のお引越
第一校のお引越
第一校のお引越

あす午後開通

あす午後開通
あす午後開通
あす午後開通
あす午後開通

サツマイモは早く掘れ

サツマイモは早く掘れ
サツマイモは早く掘れ
サツマイモは早く掘れ
サツマイモは早く掘れ

タイヤ賣で

タイヤ賣で
タイヤ賣で
タイヤ賣で
タイヤ賣で

いわき市
いわき市
いわき市
いわき市

古文書紙上公開

飯野文書解説

猪俣金五郎

一四、地頭(承前)
當時の地頭については、『世の中に地頭人なかりせば人の心はどけからまし』と言ふ狂歌めいた人聲も傳へられてゐるが、此のなげきは莊園の農民に於て最も甚しかつた。重税を課するばかりでなく、権力を武力とて、白昼公然と、強盗に等しい事をも行つたのである。飯野文書にはあまり悲惨なものはないが、いせゝ次の程度のものである。元徳二年六月八日押寄百姓宗大夫並下人藤三郎男住宅採取色々物注文
一唯八、一小袖三

二万餘石の増收確實

今年のお米の收穫豫想調べ

お米どころ いわきの稲作はその後順調で、ただ今後の稲穂病発生が懸念されてゐるが地方事務所が調査した、一日現在の豫想收穫高は總作付反別八千三百三十八反歩で十四萬八千七百七十二石台が見込まれてゐる、昨年度にくらべると反別では八十五町の増収を示し收穫高も二萬二千七百七十石の増収となつてゐる、町村別豫想收穫豫想産出のとおりに

小名濱町厚生豫算

小名濱町では厚生豫算調査を期するため衛生課長の眞藤方は十五日厚生委員会を開き豫算二十萬九千八百四十石の豫算の未定の通り決定した。九田とある。

半月に何と三十件 平署の食糧違反取締りにみる

平署の一日から十五日までの半月間の食糧違反取締りの網に會つたものは三十件でうちかゝつたものは三十件でうち悪質十四件が送局され残り十件は説教で許されたが、送局十四件中八件までは最も憎むべきブローカーであつた。この対象となつたものは米が六俵半、麥二斗、サツマイモ十八貫となつてゐるがなお同署ではこの取締りはあくまで續行する。

小名濱町の諸給與決る

小名濱町では十五日總務委員會を開いて諸給與條令並に消費關係等案について協議した。

佐々木大矢 兩君が優勝

平野棋友會の將棋會は十四日開き優勝を賜つたが、入賞者はつぎのとおり決定した。【A組】▽優勝佐々木浩一

故父榮助

儀典の儀は御多忙中遠路徳文御葬下されその上御遺言を賜はりましたる御厚意の段取御禮申上ります一々拜禮御禮申上ります。昭和二十二年九月十七日 平市字田町七四 親戚總代 藤田文藏 木田金藏



當社長長男佐藤孝儀... 追而歸來九月十八日午後一時迄社宅ニ於テ執行仕候。昭和二十二年九月十五日 平市月見町 佐藤 誠工所

父 佐藤源吉 母 山内賢五郎 友人 柴田徳二